

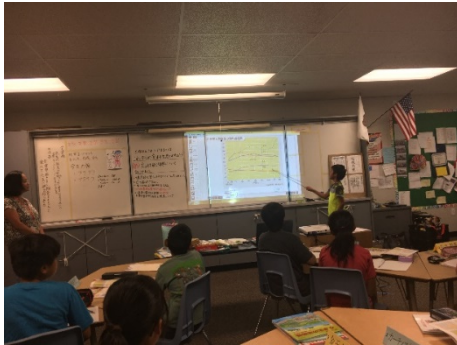


カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成 29 年 7 月号

夏休みの宿題を効率的、効果的に行う方法とは

夏休みも中盤を迎えました。子どもたちは、それぞれの夏休みを楽しんでいることだと思いますが、宿題も忘れずにしっかりさせていただきたいと思います。夏休みの宿題を効率的、効果的にする方法は



ただ一つです。当たり前のことですが、計画的に行うことです。この当たり前ができなくて苦労します。そこでお勧めしたい方法の一つが友達と協力して行うやり方です。この方法は、子どもたちの間で昔から行われている勉強会です。しかし、やり方には工夫が必要です。確かに、夏休みの宿題を友達と分らない箇所を教え合いながらの勉強は楽しいに違いありません。しかし、注意すべきことは分からないからといって即、教えてもらったり、答えのみを相手に教えるだけの勉強会にして

はいけないということです。知っている部分をしっかりと理解しお互いに「教え合う」ことで初めて「効率的、効果的」な勉強会になります。実は、この「教え合う」ことが重要な意味を持ちます。相手に教えることは学習内容が最も定着（学びのピラミッド）することが知られているからです。さらに、協働的な学びは対話を通して学習内容の深い学びへと繋がっていきます。夏休みの宿題を友達と一緒にさせることは、学習の効率と効果面から有効な方法であります。今からでもどうですか。

七夕に託す子どもたちの夢

本校の学校運営方針に「日本語による教科学習や日本的な学校行事を行い、日本の学校や社会に適応できる

素地を養う…」の文言があります。このため、卒業式、入学式などの学校行事は日本式のオーソドックスなスタイルで実施しています。加えて、学級によっては「ひな祭り」「鯉のぼり」や「七夕」祭りなどを行い日本の伝統行事についても親しみを持たすよう努めています。集中学習期間中にサンフランシスコ幼小部低学年の教室の廊下に七夕が飾られていました。異国の地で見る七夕に感傷的になりながら短冊に記された子どもたちの「星への願い」を立ち止まってみますと次のように書かれていました。「みんながずっとしあわせに

いられますように」「まい日おもちゃを買いたいな」「毎日べんきょうおわらせたい」。今だ現実世界との狭間にある子どもたちが、これからも幸せにすくすくと成長していくことを願わざるを得ませんでした。

